

プログラム一覧

メインプログラム

オープニング

ライブ配信：1月9日（土）9:45～9:50

会長講演

オンデマンド+ライブ意見交換：1月9日（土）9:50～10:10

公衆衛生看護の責任と実践

～誰も取り残されない「社会的包摂」の実現をめざして

座長： 河西 あかね（東京都保健政策部地域保健推進担当課長 / 全国保健師長会）

演者： 大木 幸子（杏林大学保健学部 教授）

会員集会・学術奨励賞表彰報告

オンデマンドのみ

※非会員の方もぜひご覧ください

基調講演

オンデマンド+ライブ意見交換：1月9日（土）10:25～10:45

戦後のハンセン病行政から保健師活動を照射する

～公衆衛生看護の責任と実践を踏まえて～

座長： 大木 幸子（杏林大学保健学部 教授）

演者： 木村 哲也（国立ハンセン病資料館 学芸員）

教育講演 1

オンデマンド+ライブ意見交換：1月9日（土）11:00～11:20

考えることを手放さないために——ハンナ・アーレントと私たちの今

座長： 麻原 きよみ（聖路加国際大学大学院 教授）

演者： 矢野 久美子（フェリス女学院大学国際交流学部 教授）

教育講演 2

オンデマンド+ライブ意見交換：1月10日（日）11:00～11:20

水俣（MINAMATA）の歴史に学ぶ公衆衛生の役割と責任

座長： 山口 忍（茨城県立医療大学保健医療学部 教授）

演者： 宮北 隆志（熊本学園大学水俣学現地研究センター センター長）

教育講演 3

オンデマンド+ライブ意見交換：1月10日（日）14:20～14:40

コミュニティと協働し、実践を育むアクションリサーチ

座長： 岩本 里織（神戸市立看護大学看護学部 教授）

演者： 市川 誠一（金城学院大学消費生活科学研究所 教授）

シンポジウム1

オンデマンド+ライブ意見交換：1月9日（土）11:35～12:05

貧困と孤立を越え地域に居場所を紡ぐために

座長： 岸 恵美子（東邦大学看護学部 教授）
澤井 美奈子（湘南医療大学保健医療学部 准教授）

生活困窮世帯の子ども達への保健活動

～食育を軸とした官民協働の取り組みについて～

演者： 藤田 恭子（上尾市健康福祉部生活支援課 副主幹）

コロナ禍におけるハウジングファースト型支援の実践から

演者： 稲葉 剛（一般社団法人つくろい東京ファンド 代表理事）

HIV陽性者のもつ生きづらさへの支援

演者： 生島 嗣（認定特定非営利活動法人ぷれいす東京 代表）

居場所がない妊婦からのSOS

～若年妊婦のための居場所『ぴさら』、project HOMEについて～

演者： 中島 かおり（特定非営利活動法人ピッコラーレ 代表理事）

シンポジウム2

オンデマンド+ライブ意見交換：1月9日（土）13:35～14:05

療養者・家族中心の地域包括ケアシステムの構築1

～療養者・家族の意思決定を支える～

（助成：公益財団法人 在宅医療助成 勇美記念財団）

座長： 平澤 則子（新潟県立看護大学看護学部 教授）
鈴木 美和（三育学院大学大学院看護学研究科 教授）

患者の物語とケア者の関与

演者： 宮坂 道夫（新潟大学大学院保健学研究科看護学分野 教授）

神経難病療養者と家族の療養生活の選択を支える

演者： 奥山 典子（東京都立神経病院患者支援センター
地域療養支援室 統括課長代理）

ICTを活用した患者のものがたりと語りの共有による在宅医療

演者： 伊藤 伸一（一般社団法人秋田県医師会 副会長）

人生と生活に寄り添う支援へのICTの可能性

演者： 丹野 清美（国立病院機構東京医療センター政策医療企画研究部
臨床疫学研究室 研究員）

シンポジウム3

オンデマンド+ライブ意見交換：1月10日（日）11:35～12:05

災害とリスクコミュニケーション

～福島第一原子力発電所事故後の10年を振り返る～

座長： 末永 カツ子（福島県立医科大学医学部災害公衆衛生看護学講座 教授）
川南 公代（武蔵野大学看護学部 准教授）

食品中に含まれる放射性物質の検査のあり方に関するリスクコミュニケーション

演者： 堀口 逸子（東京理科大学薬学部 教授）

小児甲状腺がん患者と家族への支援

演者： 牛山 元美（さがみ生協病院 内科部長）

東日本大震災・原発事故避難者からのメッセージ

－避難生活の困難と立ち直りの語りから保健師として考えること－

演者： 草野 つぎ（福島県立医科大学総合周産期母子医療センター
NICU 入院児支援コーディネーター）

公衆衛生看護技術セミナー1 オンデマンド+ライブ意見交換：1月9日（土）13:00～13:20

実践の中にうめこまれた公衆衛生看護技術をみなおす

座長： 荒木田 美香子（川崎市立看護短期大学 教授）

演者： 佐伯 和子（富山県立大学看護学部 教授）

公衆衛生看護技術セミナー2 オンデマンド+ライブ意見交換：1月9日（土）14:20～14:50

公衆衛生看護の責任と技術を継承する

～「宮本ふみ」が残した実践者へのメッセージ～

座長： 斉藤 恵美子（東京都立大学健康福祉学部 教授）

栗原 玲子（東京都障害者施策推進部精神保健医療課 課長代理）

地域と住民によりそい協働する支援～宮本ふみさんと共に築いた活動～

演者： 塚原 洋子（保健師のための相談室（なごみ）主宰）

宮本ふみから学んだケアの思想 — 倫理と技法の接続点 —

演者： 佐野 信也（ふじみクリニック 精神科医）

宮本ふみさんの実践から技術を抽出し継承する

演者： 市川 かよ子（東京都立神経病院患者支援センター地域療養支援室 主任）

先達の足跡から学ぶ保健師のまなざしと技術

演者： 三浦 千裕（東京都南多摩保健所企画調整課 主任）

「無名の語り」をとおして保健師教育課程で学生に伝える保健師の責任と技術

演者： 福本 久美子（九州看護福祉大学看護福祉学部 教授）

公衆衛生看護技術セミナー3 オンデマンド+ライブ意見交換：1月10日（日）13:00～13:30

無関心層へのアプローチ～誰も取り残されない健康支援～

座長： 野村 美千江（愛媛県立医療技術大学保健科学部 教授）
早田 紀子（東京都多摩立川保健所 地域保健推進担当課長）

仕掛学による無関心層へのアプローチ

演者： 近藤 尚己（京都大学大学院医学研究科 主任教授）

健診未受診者への個別支援アプローチ

演者： 和泉 京子（武庫川女子大学看護学部 教授）

公衆衛生看護技術セミナー4 オンデマンド+ライブ意見交換：1月9日（土）15:05～15:35

風水害発生時の二次健康被害・災害関連死を予防するために
～防災対策と災害保健対策の連携をめざし～

座長： 櫻井 尚子（東京慈恵会医科大学大学院医学研究科 教授）
村井 やす子（東京都南多摩保健所保健対策課 統括課長代理）

水害時の組織マネジメント ～市内限局的な水害を経験して～

演者： 梶野 今日子（八王子市健康部（八王子市保健所）
健康増進担当課長（統括保健師）

災害関連死を低減するために防災対策の立場から期待すること
～八王子市の災害対応から考えたこと～

演者： 黒田 洋司（一般財団法人消防防災科学センター
研究開発部長兼統括研究員）

防災部署との連携のために必要なこと

～風水害発生時の二次被害・災害関連死を予防するために～

演者： 奥田 博子（国立保健医療科学院健康危機管理研究部 上席主任研究官）

特別セミナー

オンデマンド+ライブ意見交換：1月10日（日）13:45～14:05

介護者支援による地域づくり活動と保健師への期待

（助成：公益財団法人 在宅医療助成 勇美記念財団）

座長： 渡部 月子（神奈川県立保健福祉大学保健福祉学部 教授）
江川 裕美（東村山市健康福祉部介護保険課 課長）

生活者と介護者の立場のはざまを感じる～家族の介護経験を通して～

演者： 岸本 今日子（介護者（ケアラー））

介護者支援による地域づくりと保健師への期待

演者： 牧野 史子（特定非営利活動法人
介護者サポートネットワークセンター・アラジン 理事長）

パネルディスカッション1 オンデマンド+ライブ意見交換：1月10日（日）9:30～10:00

配偶者暴力（DV）被害者支援と児童虐待予防との連携

座長： 中板 育美 （武蔵野大学看護学部 教授）
中村 美奈子 （東京都西多摩保健所保健対策課 課長代理）

DVと子ども虐待が併存する家族へのアプローチ

演者： 加茂 登志子（若松町こころとひふのクリニック PCIT研修センター長）

虐待相談の中のDV被害

演者： 川野 由紀子（東京都北児童相談所 課長代理）

母子保健活動における児童虐待予防と家族アセスメント

演者： 笠 真由美（杉並区子ども家庭部 地域子育て支援担当課長）

学校は家庭内の暴力にどう向き合えるのか？

演者： 戸賀沢 亮子（前埼玉県立高校 養護教諭）

パネルディスカッション2 オンデマンド+ライブ意見交換：1月10日（日）10:15～10:45

療養者・家族中心の地域包括ケアシステムの構築2

～多様な課題をもつ療養者と家族を包摂する地域包括ケアシステムの構築～

（助成：公益財団法人 在宅医療助成 勇美記念財団）

座長： 工藤 恵子 （帝京平成大学看護学部 教授）
高橋 郁子 （帝京平成大学看護学部 准教授）

難病療養者の生活課題と地域ケアシステム～東京都保健師の難病保健活動から考える～

演者： 岡田 美保（東京都多摩小平保健所保健対策課 統括課長代理）

HIV陽性者の高齢化を踏まえて地域ケアシステムを考える

演者： 池田 和子（国立研究開発法人国立国際医療センター
エイズ治療・研究開発センター 看護支援調整職）

医療的ケア児等への地域包括ケアシステムの構築への期待

演者： 谷口 由紀子（淑徳大学看護栄養学部 助教）

障害児・障害者を支える地域ケアシステムづくり

演者： 相良 裕美（多摩市健康福祉部障害福祉課発達支援室
（兼）教育センター 担当主査）

特別企画

ライブ配信のみ：1月10日（日）14:55～15:55

新型コロナウイルス感染症対策をめぐる保健師の活動

（災害・健康危機管理委員会共催）

座長： 鈴木 良美 （東京医科大学医学部看護学科 教授）
藤井 広美 （杏林大学保健学部 准教授）

COVID-19 対策を通してつくる新たな関係づくり～地域づくりにどうつなげるか～

演者： 斉藤 富美代（災害・健康危機管理委員会 委員長／埼玉県狭山保健所 副所長）

COVID-19 対策における公衆衛生看護の専門性～人材育成の視点から～

演者： 河西 あかね（東京都保健政策部（東京都南多摩保健所） 地域保健推進担当課長）

COVID-19 対策体制の中で感じる保健活動のジレンマと課題

演者： 本田 浩子（東京都多摩小平保健所保健対策課 統括課長代理）

企画展

「宮本ふみ」企画展

宮本ふみさんの残したメッセージ

（協力：医学書院）

ハンセン病企画展

国立ハンセン病資料館バーチャルツアー

（協力：国立ハンセン病資料館）

水俣学企画展

MINAMATA から学ぶ水俣学

（協力：熊本学園大学水俣学研究センター

山口 忍 氏（茨城県立医療大学））

ワークショップ

WS-01

1月9日(土) 15:45~16:45 オンライン自主集会

認知症高齢者の生活支援に向けた地域包括支援センター保健師の役割

古賀 佳代子 (福岡大学医学部看護学科)

WS-02 広報委員会

1月9日(土) 17:00~18:00 オンライン自主集会

ICTスキルアップ カフェ

ICTを活用した次世代型保健指導の可能性

大木 幸子 (杏林大学保健学部看護学科)

WS-03

1月9日(土) 18:15~19:15 オンライン自主集会

若葉保健師からのメッセージ

～語る保健師には"縁"来る～

長沼 由佳 (横浜市こども青少年局南部児童相談所)

WS-04 教育委員会

1月9日(土) 19:30~20:30 オンライン自主集会

コロナ禍における公衆衛生看護基礎教育の在り方について

～公衆衛生看護のグランドデザインに照らして～

松本 珠実 (大阪市健康局健康推進部)

WS-05

1月10日(日) 16:15~17:15 チャット意見交換

保健師の事業実装に先進優良事例を横展開する！

全国調査結果からの提案

岡本 玲子 (大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻)

WS-06

1月10日(日) 17:30~18:30 オンライン自主集会

これって Social Inclusion かも！

自身の公衆衛生看護活動・経験を振り返り、社会的包摂を志向する

大森 純子 (東北大学大学院医学系研究科)

WS-07 学術実践開発委員会

1月10日(日) 18:45~19:45 オンライン自主集会

公衆衛生看護学の体系を基にした継続教育の取り組み

佐川 きよみ (葛飾区保健所 保健予防課)

WS-08

1月11日(月祝) 10:45~11:45 オンライン自主集会

自治体のたばこ対策に関する保健師のコンピテンシー

ー効果的なたばこ対策の推進につながる保健師のコンピテンシーについて考えるー

道林 千賀子 (岐阜医療科学大学看護学部看護学科)

WS-09 認証制度検討委員会

1月11日(月祝) 14:30~15:30 チャット意見交換

公衆衛生看護の実践・教育・研究の発展に貢献する専門家認証制度を考えよう

日本公衆衛生看護学会認定専門家認証制度(仮称)案について

佐伯 和子 (富山県立大学看護学部)

WS-10

1月11日(月祝) 15:45~16:45 オンライン自主集会

事業化・施策化に向けた人材育成の取り組みと課題

山口 忍 (茨城県立医療大学保健医療学部看護学科)

WS-11 国際委員会

1月11日(月祝) 18:15~19:15 オンライン自主集会

リスクに備える在留外国人とのコミュニケーションを考える

国際委員会ワークショップ

荒木田 美香子 (川崎市立看護短期大学)

WS-12

1月23日(土) 10:45~11:45 オンライン自主集会

院生倶楽部@zoom 修士課程で公衆衛生看護学を学ぶ意味とは

～健康危機の状況下を含めて～

小林 奈津実 (国際医療福祉大学大学院 保健医療学専攻 看護分野
公衆衛生看護学領域実践コース)

WS-13

1月23日(土) 14:30~15:30 チャット意見交換

**「新人に相談されて困ったとき、どうしますか？」プリセプター保健師経験学習モデルの
4つの視点で考える**

嶋津 多恵子 (国立看護大学校研究課程部看護学研究科)

WS-14

1月23日(土) 18:15～19:15 オンライン自主集会

明日から使える行動科学！人々の行動を後押しする

～普段の保健活動にスパイスを～

藤富 絵里香（横浜市中区こども家庭支援課/横浜市行動デザインチーム (YBiT)）

WS-15

1月24日(日) 10:45～11:45 オンライン自主集会

へき地での人材確保

保健師採用情報をターゲットに届けるための工夫

青木 さぎ里（自治医科大学看護学部）

WS-16

1月24日(日) 13:15～14:15 オンライン自主集会

地域に責任を持つ保健師活動の伝承～管理期の保健師による「みる・つなぐ・うごかす・つたえる」を
実践活動から考える～

山科 美絵（東京都福祉保健局保健政策部保健政策課保健指導調整担当）

一般演題

第1群 地域づくり 1

- 1-1 「Social Inclusion」の概念分析
社会的包摂を志向する公衆衛生看護活動の定着に向けて
岩本 萌 (東北大学大学院医学系研究科)
- 1-2 東北の被災地におけるポジティブ・デビエンスを生かした社会的包摂の実践モデルの開発
竹田 香織 (東北大学大学院医学系研究科)
- 1-3 「Community Nurse」の概念分析
佐藤 美沙 (元東北大学医学部保健学科)
- 1-4 民生委員児童委員協議会の開設する子ども食堂を介した地域ネットワークへの認識
織田 遥 (北海道大学大学院保健科学院)
- 1-5 1970年代水俣での“自分の健康は自分で守る“実践—竹の子塾”の記録分析—
山口 忍 (茨城県立医療大学保健医療学部)
- 1-6 地域づくりへの協働力を高める保健福祉職合同研修の定量的アウトカム評価
入野 了士 (愛媛県立医療技術大学看護学科)
- 1-7 小児慢性特定疾病児の学校生活に着目した保健所保健師の支援の検討
修士課程保健師教育における広域看護活動研究実習
竹中 響 (大分県立看護科学大学大学院博士前期課程広域看護学コース)

第2群 地域づくり 2

- 2-1 地域住民の認知症の人に対する理解の促進と偏見の軽減に関する研究
—認知症 VR 体験の効果の検証—
柏葉 英美 (岩手県立大学社会福祉学部)
- 2-2 都市型地域包括ケアシステムにおける産官民連携の形
—「朝市で語ろう」の初期要因と持続要因—
山田 昌美 (名古屋市緑保健センター)
- 2-3 参加者自らが役割を見いだす「要介護高齢者と家族の集い」の実際
楠 史子 (甲府市中央地域包括支援センター)
- 2-4 高齢者が見出す「地域の保健室」の価値
聲高 英代 (甲南女子大学看護リハビリテーション学部)
- 2-5 農村地域高齢者の生活機能向上に向けた地域づくり指標の開発と検証
南部 泰士 (日本赤十字秋田看護大学看護学部)

2-6 訪問看護師が行うグリーンケアの課題

ー自由記述の分析からー

渡邊 朱美 (川崎医療福祉大学 保健看護学部)

2-7 都市における“死別を支え合うコミュニティ”を育む教育プログラムの開発

小野 若菜子 (聖路加国際大学大学院看護学研究科)

第3群 地区・住民組織活動 1

3-1 住民主体で取り組む地域の健康づくりにおける保健師の役割

～活動意欲のある住民との出会いからの気づき～

桑原 春佳 (江戸川区役所葛西健康サポートセンター)

3-2 地域における住民組織の主体性を醸成するための保健師の支援内容について

～活動初期に焦点をあてて～

中島 史佳 (魚沼市役所市民福祉部健康増進課)

3-3 コロナ禍における介護予防の集いと感染予防の両立をめざした保健師による住民ボランティアへの支援

中村 恵子 (北海道医療大学大学院看護福祉学研究科修士課程)

3-4 住民組織活動が地域づくりに発展するための保健師の支援評価項目の精選

表面妥当性と内容妥当性の検討

阿部 朱美 (廿日市市福祉保健部高齢介護課)

3-5 「花畑プロジェクト」を通じた住民組織づくりの検討

王 麗華 (大東文化大学)

3-6 地域の健康を志向する組織的活動とのパートナーシップを形成する要素

坪川 トモ子 (新潟青陵大学看護学部)

第4群 地区・住民組織活動 2

4-1 一人暮らし男性高齢者への民生委員の支援の特徴

青柳 玲子 (公益社団法人新潟県看護協会)

4-2 A町のBC地区の地域活動の参加及び参加意欲と社会的孤立の検討

一年代別、性別による比較

星野 明子 (京都府立医科大学)

4-3 地域防災教育による高齢者同士の災害時に向けた孤立防止の取り組みへの効果

松尾 由妃 (北海道大学大学院保健科学院)

4-4 都市部の介護予防活動におけるソーシャル・サポート授受の関係性を構築する要因の検討

山埜 ふみ恵 (大阪医科大学看護学部)

4-5 地域の住民組織による地域課題の捉え方の特徴

山下 千絵子 (元旭川医科大学医学系研究科)

4-6 保健推進委員として活動する中で地域の健康課題を捉えるに至った要因

鈴木 可乃佳 (おいらせ町役場 保健こども課)

4-7 地区担当制導入後の成果と課題

古郡 恵子 (富士宮市健康増進課)

第5群 健康教育・グループ支援

5-1 ひきこもり家族教室の参加者の対応力評価の見える化の取組

～「振り返りシート」の作成と活用を通して～

新庄 琴 (東京都多摩小平保健所保健対策課地域保健担当)

5-2 オンラインによる妊産婦の不安軽減の試み

新型コロナ禍を契機とした新しい形の両親学級

高山 智美 (琉球大学医学部保健学科)

5-3 新型コロナウイルス感染症流行下におけるオンラインを活用した仮想飲食店「スナック保健室」の活動報告

後藤 みずえ (保健師事務所アオラ)

5-4 発達の遅れに心配がある児およびその親のグループ参加による効果について

田所 綾子 (大田区保健所)

5-5 看護師による禁煙支援の実践に影響を及ぼす要因に関する 文献検討

李 猛 (大阪大学大学院医学系研究科博士後期課程)

5-6 簡易型肥満認知行動療法の減量に対する効果

ーランダム化比較試験ー

田中 美加 (北里大学 看護学部)

5-7 思春期からのこころの健康づくり事業の考察

浅野 香奈 (三重県朝日町子育て健康課)

第6群 健康危機管理 (災害含む) 1

6-1 小学校高学年を対象とした減災教育プログラム開発の試み

多次 淳一郎 (四日市看護医療大学看護医療学部)

6-2 災害時における看護師の役割に対する看護学生の認識と防災行動の実態

満行 那央 (神戸大学大学院保健学研究科)

6-3 災害時の共助を意図した平常時の保健師活動に関する市区町村全国調査 (第1報)

細谷 紀子 (千葉県立保健医療大学 健康科学部看護学科)

6-4 イベントカードを用いた演習による災害時保健師研修プログラムの効果

奥田 博子 (国立保健医療科学院健康危機管理研究部)

6-5 災害時保健活動における情報伝達の円滑な実施に向けた体制整備

藤原 真里 (高知県健康政策部健康長寿政策課)

6-6 小規模多機能型居宅介護事業所における災害対策の実態

田中 亜沙実 (神戸大学大学院保健学研究科パブリックヘルス領域)

第7群 健康危機管理(災害含む) 2

7-1 災害時保健活動演習による保健師の人材育成への効果

安井 裕子 (桑名市保健福祉部子ども未来局子育て支援課)

7-2 大学ネットワークを活用した新型コロナウイルス感染症対策の推進

河西 あかね (東京都南多摩保健所)

7-3 自治体保健師が災害フェーズ0・1期に経験した公衆衛生看護活動

—困難とそれを克服するための対応能力—

若杉 早苗 (聖隷クリストファー大学)

7-4 大規模災害により被災した支援者、派遣された支援者が抱えるストレスの内容

下池 竜郎 (神奈川県厚木保健福祉事務所大和センター保健予防課)

7-5 平成30年7月豪雨災害被災者の1年後の健康実態における特定リスク保有者の特徴

坂本 直美 (広島市健康福祉局保健部健康推進課)

7-6 原子力災害により余儀なく移住した成人男性の生活の再構築の促進要因・阻害要因

島田 裕子 (自治医科大学看護学部)

第8群 公衆衛生看護管理 1

8-1 愛媛県の保健師活動を後世につなぐ愛媛保健師アーカイブの作成プロセス

齋藤 希望 (聖カタリナ大学人間健康福祉学部看護学科)

8-2 かながわの保健師活動集の作成および活用に関する調査

彦根 倫子 (神奈川県平塚保健福祉事務所)

8-3 へき地診療所における訪問看護及び在宅での看取り状況

青木 さぎ里 (自治医科大学看護学部)

8-4 地域包括ケアシステム推進にむけた保健医療福祉の連携強化に関する検討

村嶋 幸代 (公立大学法人 大分県立看護科学大学)

8-5 保健師が行う集団・コミュニティに向けたアドボカシー行動の検討

鳩野 洋子 (九州大学大学院医学研究院保健学部門)

8-6 A町の保健師活動時間の変遷(第2報)

保健福祉事業従事時間の分析から

中里 早苗 (岩手県軽米町役場)

第9群 公衆衛生看護管理 2

- 9-1 住民からの母子保健活動に対するクレームへの組織的対応の実態
市区町村の管理的立場にある保健師を対象とした調査から
鈴木 知代 (豊橋創造大学 保健医療学部 看護学科)
- 9-2 看護師における主観的な組織公平性とワーク・エンゲイジメントとの関連
組織公平性の下位尺度に着目して
松岡 昌子 (北里大学看護学部)
- 9-3 県庁政策部門の保健師が日常業務の中で行う地域アセスメントの特徴
小笠原 裕子 (愛媛県保健福祉部健康衛生局健康増進課)
- 9-4 市町村保健師の効果的な保健活動に向けて (第1報) 非常勤保健師の役割の実態
寺岡 佐和 (九州大学大学院医学研究院)
- 9-5 市町村保健師の効果的な保健活動に向けて (第2報) 人材確保に影響する要因とその方策
前野 有佳里 (九州大学大学院医学研究院保健学部門)
- 9-6 市町村保健師の効果的な保健活動に向けて (第3報)
非常勤保健師の人材育成
馬場 順子 (福岡県保健医療介護部健康増進課)

第10群 基礎教育 1

- 10-1 新型コロナウイルス感染症拡大に伴い実施された代替としての学内実習 第1報
～地域保健に関する実習における有効性の検証～
近藤 圭子 (札幌市立大学看護学部)
- 10-2 新型コロナウイルス感染症拡大に伴い実施された代替としての学内実習 第2報
産業保健・学校保健に関する実習と実習方法に関する有効性の検証
本田 光 (札幌市立大学看護学部)
- 10-3 映像学習教材を用いた遠隔授業による家庭訪問演習の試み
関 美雪 (埼玉県立大学保健医療福祉学部)
- 10-4 オンライン実習を学生はどう捉えたか
—公衆衛生看護学実習プログラムの効果と課題—
合田 加代子 (甲南女子大学看護リハビリテーション学部)
- 10-5 COVID-19 下で健やかな生活を送るための予防対策に関する実践
—A 大学における学校保健実習の取り組みの成果と課題—
尾崎 美恵子 (西武文理大学看護学部)
- 10-6 保健師基礎教育の学校保健実習に求められる実習前後の実習依頼、調整、展開方法
実習を受け入れる養護教諭の視点から
廣金 和枝 (畿央大学 健康科学部)

-
- 10-7 A 大学保健師教育課程を履修する学生の学習意欲を継続するための取り組みについて
佐藤 文子 (藍野大学医療保健学部)

第 11 群 基礎教育 2

- 11-1 児童虐待に対する看護学生の認識の実態
藤岡 真菜 (神戸大学大学院保健学研究科)
-
- 11-2 市町村実習を通して得られた保健師学生の学び
金屋 佑子 (東京女子医科大学看護学部地域看護学)
-
- 11-3 保健師教育課程における健康相談の授業の実施状況
ー演習に焦点をあててー
綾部 明江 (茨城県立医療大学 保健医療学部)
-
- 11-4 保健師実践能力を育成する教育プログラムの検討
ー地域ボランティア活動に参加した学生のフォーカス・グループインタビューから
導く学びの内容ー
神庭 純子 (西武文理大学看護学部)
-
- 11-5 看護師の沖縄の文化に関連した看護体験の実態
川村 麻乃 (琉球大学病院)
-
- 11-6 大学院を修了した新人保健師の個別支援の実践状況
安野 敦子 (長崎県立大学大学院地域創生研究科人間健康科学専攻公衆衛生看護学
コース)
-
- 11-7 大学院保健師教育課程における海外渡航プログラムの評価と課題
小寺 さやか (神戸大学大学院保健学研究科)

第 12 群 現任教育 1

- 12-1 直営型地域包括支援センター保健師の役割葛藤
神戸 愛 (元旭川医科大学医学系研究科)
-
- 12-2 連携と人材育成を目指した「保健事業従事者研修」の取組みと今後のあり方
平井 幸子 (静岡県掛川市役所 健康福祉部 地域包括ケア推進課)
-
- 12-3 地域の強みを高める公衆衛生看護技術を習得するために地域包括支援人材が求める
学び方
渡辺 莉世 (大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻公衆衛生看護学教室)
-
- 12-4 地域包括支援人材における地域の強みを高める公衆衛生看護技術と省察的実践力と
の関連
田中 美帆 (大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻公衆衛生看護学教室)

12-5 健康づくりに携わる保健医療従事者の自主勉強会の実践 (第1報)

ーヘルシーBox in 愛知の15年間の活動を通してー

土本 千景 (富山保健観察所)

12-6 健康づくりに携わる保健医療従事者の自主勉強会の実践 (第2報)

ー「行動変容をうながすコミュニケーション術」のプログラムー

湯浅 記久子 (産業保健アークスソルトプラム)

12-7 健康づくりに携わる保健医療従事者の自主勉強会の実践 (第3報)

ー「行動変容をうながすコミュニケーション術」の評価ー

清水 美代子 (日本赤十字豊田看護大学 看護学部)

第13群 現任教育 2

13-1 養護教諭のためのキャリアノート (スタート編) の開発

上原 美子 (埼玉県立大学保健医療福祉学部)

13-2 新任期保健師研修会におけるリフレクションのための訪問記録セルフチェックシート
の活用

伊豆 麻子 (新潟青陵大学看護学部)

13-3 大学選択制保健師課程卒保健師の新任期における支援技術の獲得状況と影響要因

服部 真理子 (埼玉県立大学保健医療福祉学部)

13-4 新任期保健師を指導する立場にある保健師が考える人材育成

吉田 靖代 (江戸川区児童相談所)

13-5 4自治体におけるプリセプター研修の企画運営の工夫 実践例

自治体の特性、人材育成の資源と経験を活かした取り組み

遠藤 直子 (国立看護大学校看護学部)

13-6 プリセプター保健師研修を企画・構築し根付かせていくプロセス

嶋津 多恵子 (国立看護大学校研究課程部看護学研究科)

第14群 現任教育 3

14-1 大阪府・中核市と大学との協働による中堅期保健師研修の実施と評価 [第1報]

西岡 美砂子 (枚方市健康福祉部保健所)

14-2 大阪府・中核市と大学との協働による中堅期保健師研修の実施と評価 [第2報]

大川 聡子 (大阪府立大学看護学類)

14-3 保健師の個別支援アセスメント能力の向上を目指した研修の企画評価

ーアクションリサーチを通してー

塩川 幸子 (旭川医科大学医学部看護学科)

14-4 事例検討会による保健師のOJTに関わる要素

佐藤 太一 (千葉大学大学院看護学研究科博士後期課程)

14-5 保健師活動アドバイザー設置による人材育成の効果と今後の課題

永野 秀子 (宮崎県健康増進課)

14-6 保健師活動アドバイザーによる保健師活動支援体制

～保健師活動アドバイザーの1年間の活動評価～

木添 茂子 (宮崎県立看護大学看護研究・研修センター)

第15群 現任教育 4

15-1 A 県市町村の分散配置保健師の実態と分散配置保健師への教育ニーズに関する研究

黒田 真由美 (埼玉県立大学保健医療福祉学部看護学科)

15-2 低出生体重児を育てる家族支援のための保健師教育プログラムの開発

永井 智子 (目白大学 看護学部看護学科)

15-3 福祉部門保健師による生活困窮者への健康管理支援における保健部門保健師との連携

田村 須賀子 (富山大学学術研究部医学系)

15-4 A 県自治体中堅期保健師の地域組織活動の組織化への取り組みと保健師の日頃の活動への思いとの関連

中島 富志子 (茨城県立医療大学保健医療学部)

15-5 市町村保健師におけるコーピングと自己効力感の実態

山田 小織 (福岡女学院看護大学看護学部)

15-6 保健師の倫理的課題と実践への取り組みに関する文献レビュー

河本 秋子 (聖路加国際大学大学院 看護学研究科)

第16群 現任教育 5

16-1 熟練保健師の保健師活動の継承における意識と課題に関する文献検討

西本 絵美 (聖カタリナ大学人間健康福祉学部)

16-2 保健師の事業・活動における先進優良事例の横展開の実態

～第1報 横展開の経験有無と各種実装項目との関連～

田川 文 (大阪大学大学院医学系研究科)

16-3 保健師の事業・活動における先進優良事例の横展開の実態

～第2報 横展開経験なし群の特徴～

藤岡 茉奈 (大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻)

16-4 保健師の事業実装力のセグメント化に基づく教育方策の検討

～実装研究統合枠組み日本版を用いた全国調査結果より～

山本 佳子 (大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻)

16-5 実装研究統合枠組み(CFIR-J)を用いた保健師の事業実装力と学習経験との関連
第1報 経験年数別比較から

東嶋 由佳 (大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻)

-
- 16-6 実装研究統合枠組み(CFIR-J)を用いた保健師の事業実装力と学習経験との関連
第2報 管理期の統括保健師の特徴に焦点を当てて
大砂 彩水 (大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻)

第17群 親子保健・福祉 1

- 17-1 「地域における子育て」の概念的特徴の検討
若松 紅七 (東北大学医学部)
-
- 17-2 長野県上伊那地域の安心・安全な妊娠・出産・子育て環境とその形成過程に関する調査
大野 麻美 (ネパール交流市民の会)
-
- 17-3 乳幼児を育てる母親の子育て支援サービスの利用と育児・サービスに対する思い・経験との関係
鈴木 浩子 (昭和大学保健医療学部)
-
- 17-4 地域と行政が協働で取り組む子育てしやすい地域づくりについての検討
子育て実態調査の孤独感に着目した検討
増山 千花 (横浜市 金沢区役所 こども家庭支援課)
-
- 17-5 就業する母親の育児ストレスと育児・仕事の受け止めの特徴
山本 佳奈 (天使大学大学院 看護栄養学研究科 看護学専攻 (卒業生))
-
- 17-6 アウトカムモデルによる乳幼児を育てる母親における社会的孤立予防プログラムの構成要素の明確化
有本 梓 (横浜市立大学大学院医学研究科地域看護学分野)

第18群 親子保健・福祉 2

- 18-1 妊娠初期の妊婦におけるドメスティック・バイオレンス、精神的健康の関連要因
櫻井 陽子 (福井大学大学院医学系研究科修士課程看護学専攻)
-
- 18-2 妊娠期面接「ゆりかご・しんじゅく事業」から把握した特定妊婦等の内容分析 (第二報)
美谷 麻衣子 (新宿区牛込保健センター)
-
- 18-3 特定妊婦の子ども虐待を予防するための保健機関保健師との連携に基づく周産期医療機関専門職による支援
内村 利恵 (神戸大学大学院保健学研究科)
-
- 18-4 市町村保健師における児童虐待リスク要支援事例支援の困難さ
市川 定子 (常磐大学看護学部)
-
- 18-5 市町村保健師による発達障害の特性をもつ子どもの保護者に対する支援技術の明確化
1歳半健診後の継続支援が困難な状況に焦点をあてて
江口 晶子 (順天堂大学保健看護学部)

18-6 子どものいる貧困世帯に対する支援チームにおける保健師の役割

喜多 歳子 (札幌市立大学看護学部)

18-7 生活保護受給世帯の子どもの家庭における調理参加の実態

藤田 恭子 (上尾市健康福祉部生活支援課)

第19群 親子保健・福祉 3

19-1 高年初産の乳児をもつ母親の育児における日常の出来事への対処

松田 茂弓 (栗山町住民保健課)

19-2 NICUを退院した低出生体重児の母親の育児に対する自己効力感に関連する要因

夏梅 るい子 (福井大学学術研究院医学系部門看護学領域)

19-3 育児期女性における Sense of Coherence(SOC)と不適切養育行動との関連

4か月・1.6歳・3歳時点での比較

榎本 妙子 (同志社女子大学看護学部)

19-4 母親の自己効力感一就労との関連から

尾関 唯未 (岐阜聖徳学園大学看護学部)

19-5 現代の働く母親に対する支援の一考察

伊草 綾香 (埼玉県立大学大学院保健医療福祉学研究科博士後期課程)

19-6 沖縄県において3歳児を育てる母親の育児ストレス

當山 紀子 (琉球大学医学部保健学科)

19-7 乳児との自粛生活で地域とつながりが絶たれた母親が双方向型オンライン支援を取り入れてつながりを取り戻すまでのプロセス

時田 純子 (東京純心大学看護学部看護学科)

第20群 親子保健・福祉 4

20-1 地域の子育て支援拠点における「前向き子育てプログラム(トリプルP)」を活用した発達支援活動

西嶋 真理子 (愛媛大学大学院医学系研究科看護学専攻)

20-2 地域の子育て支援拠点における「前向き子育てプログラム(トリプルP)」の実施と評価(第1報)

介入前後の比較より

増田 裕美 (聖カタリナ大学人間健康福祉学部看護学科)

20-3 地域の子育て支援拠点における「前向き子育てプログラム(トリプルP)」の実施と評価(第2報)

介入前後と3カ月後の比較より

仲野 由香利 (聖カタリナ大学短期大学部保育学科)

-
- 20-4 子育て世代包括支援センターに勤務する職員の連携の実態
東山 友美 (神戸大学大学院保健学研究科)
-
- 20-5 行政と研究者の協働による児童家庭支援体制強化に向けた検討
馬場 文 (滋賀県立大学人間看護学部)
-
- 20-6 親子保健活動における保護者支援プログラムの実践に関する文献検討
児童虐待防止法の改正をふまえた観点から
藤田 碧 (人間環境大学松山看護学部)
-
- 20-7 未就学児の保護者が持つ教育ニーズに対応した訪問型健康教育事業の実施とその評価
高橋 佐和子 (神奈川県立保健福祉大学)

第 21 群 親子保健・福祉 5

-
- 21-1 未就学多胎児の母の「多胎妊婦さんや多胎ママとご家族に伝えたいこと」
落合 世津子 (大阪大学大学院医学系研究科附属ツインリサーチセンター)
-
- 21-2 A 県内の産後うつ病を予防するための保健師の支援に関する実態調査
武井 勇介 (山梨大学大学院総合研究部)
-
- 21-3 寝返り前の乳児と母親の睡眠温熱環境の比較
角田 八千代 (岡山県立大学大学院保健福祉学研究科・岡山市保健所健康づくり課北保健センター)
-
- 21-4 赤磐市の幼児う蝕と生活習慣の関連
武林 真由美 (赤磐市役所健康増進課)
-
- 21-5 1歳6か月児健康診査における社会性の発達評価に関する実態
奥野 みどり (群馬医療福祉大学看護学部)
-
- 21-6 妊娠期からの支援についての検討
—産後ケア事業利用者からの分析—
鈴木 嘉絵 (岐阜市南市民健康センター)

第 22 群 成人保健 1

-
- 22-1 笠岡市におけるインセンティブを活用した健康づくりの取り組みについて
星島 裕子 (笠岡市役所 健康推進課)
-
- 22-2 健康管理アプリを活用したウォーキングイベントの開催とその効果
石田 有紀 (九州大学大学院医学研究院 衛生・公衆衛生学分野)
-
- 22-3 生活習慣病予防に焦点をあてた保健師のヘルスコーチングの構造
野村 美紀 (高知学園短期大学 専攻科地域看護学専攻)
-
- 22-4 成人期から高齢期までの切れ目のない生活習慣病予防のための連携システムモデルの開発
浜崎 優子 (佛教大学)

22-5 壮年期の女性新規就農者が転入地で獲得する健康観の構造

小澤 涼子 (天使大学看護栄養学部)

22-6 若年女性が抱く瘦身願望と関連要因に関する文献レビュー

西田 洋子 (川崎医療福祉大学保健看護学部保健看護学科)

第 23 群 成人保健 2

23-1 保健医療系大学生における非燃焼・加熱式タバコに対する認識とその影響要因

木戸 志保 (天使大学大学院)

23-2 保健師が把握した成人期の生活困窮者の実態

林 孝子 (新潟大学大学院保健学研究科博士前期課程)

23-3 「くらしき健康応援団講座」における健康無関心層への効果的なアプローチ方法を考える

市民モニターへの健康に関する調査から

西 志穂 (倉敷市保健所 健康づくり課 倉敷保健推進室)

23-4 ICT ツールを活用した特定保健指導のプロセス評価

江角 伸吾 (自治医科大学看護学部)

23-5 特定保健指導における対象者の行動変容ステージに合わせた効果的な保健師の支援

平松 みなみ (京都橘大学看護学部)

第 24 群 高齢者保健・福祉 1

24-1 一人暮らし高齢者の地域生活を続けていく上での思い

中澤 はるか (笛吹市役所長寿介護課)

24-2 おっくうと感じている地域高齢者の外出の現状

水口 和香子 (旭川医科大学医学部看護学科)

24-3 地域で生活する高齢者の外出支援活動の意欲と関連する要因

中谷 芳美 (福井県立大学看護福祉学部)

24-4 震災後の相馬井戸端長屋における生活実態と孤立予防効果に関する研究

伊東 尚美 (福島県相馬市)

24-5 A 市における「あしゆび」プロジェクトの取り組み (第 3 報)

～その後の取り組みと今後の課題～

根来 佐由美 (大阪府立大学看護学類)

24-6 地域包括支援センターの保健師における職務満足度の実態

古賀 佳代子 (福岡大学医学部看護学科)

-
- 24-7 豪雪地帯・無医地区の高齢者を在宅で看取るケアシステムの構築
看取り家族の語りから医師・看護師の対応が家族に及ぼす影響
小山 歌子 (新潟医療福祉大学看護学部)

第 25 群 高齢者保健・福祉 2

- 25-1 地域在住高齢者の健康の維持・増進に対する支援方法に関する文献検討
杉田 由加里 (千葉大学大学院看護学研究科)
- 25-2 地方農村部シルバー人材センター会員による健康課題決定に至るまでの健康課題の変遷
米澤 洋美 (福井大学医学部)
- 25-3 A 市における自主体操グループに参加する高齢者の主観的な身体・心理・社会的な変化
岡部 芳美 (元武庫川女子大学大学院 看護学研究科 修士課程)
- 25-4 介護予防を目的とした開始期の自主グループの運営に関するリーダーの行動
山内 菜実 (北海道大学大学院保健科学院)
- 25-5 介護予防体操教室継続参加者の新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) による休会期間中における身体活動に関する実態調査
小坂橋 恵美子 (東邦大学健康科学部)
- 25-6 自粛期間における高齢者のフレイル予防への取り組み
～アフターコロナ訪問から見えた高齢者の健康～
吉川 慎子 (藤沢市役所 地域包括ケアシステム推進室)

第 26 群 高齢者保健・福祉 3

- 26-1 委託型地域包括支援センター職員を対象に行った地区診断研修後の活動の変化
岡野 明美 (大阪府立大学大学院看護学研究科)
- 26-2 大学教員と地域包括支援センター職員との支援技術向上を目指すための活動
式守 晴子 (聖隷クリストファー大学看護学部)
- 26-3 地域包括支援センターの技術支援継続について
～covid-19 下における事例検討会 (Web 会議) の工夫～
山本 裕美 (東京都日野市健康福祉部在宅療養支援課)
- 26-4 地域包括支援センター看護職の倫理的な課題が生じた際の支援についての質的分析
斉藤 恵美子 (東京都立大学大学院人間健康科学研究科)
- 26-5 地域高齢者の見守り活動の課題～公的機関職員と民生委員の比較～
徳嶋 靖子 (鳥取大学医学部)

26-6 地域で生活する高齢者への支援を困難とする要因に関する文献検討

—健康の社会的決定要因に着目して—

坂東 志乃 (宮城大学看護学群)

第 27 群 高齢者保健・福祉 4

27-1 地域組織活動への参加を基盤に健康を維持する独居高齢者の相互交流

金森 弓枝 (山口大学大学院医学系研究科保健学専攻)

27-2 都市部在住の女性高齢者における生きがい意識の予測因子と社会側面への影響

世古 和樹 (北海道大学大学院保健科学院)

27-3 地方在住高齢者がとらえる交流アプリケーション活用によるつながり

菊地 眞海 (北海道大学大学院保健科学院)

27-4 男性高齢者のつながりと運動に着目した交流アプリの効果

篠河 咲乃 (北海道大学大学院保健科学院)

27-5 独居高齢者における精神面の主観的健康感の特性

鈴木 直子 (日本医療科学大学 保健医療学部 看護学科)

27-6 独居男性高齢者が社会参加に至った動機とその意味

井内 瑠香 (天使大学大学院卒業)

27-7 独居高齢者の生きがいと社会活動との関連

文献レビューによる考察

石丸 さくら (京都橘大学看護学部)

第 28 群 高齢者保健・福祉 5

28-1 訪問看護師の看取りケアの満足度に影響する要因

一般病棟看護師との比較による考察

松山 実 (京都橘大学看護学部)

28-2 在宅医療を行う医師がアドバンスケアプランニングの実施に困難を感じた患者の特徴

松川 真葵 (畿央大学健康科学部)

28-3 高齢者夫婦のみ世帯における配偶者の入院から自宅退院を決定するまでの介護者の体験

渡辺 由佳 (新潟大学大学院保健学研究科博士前期課程)

28-4 通所介護・短期入所生活介護における看護師・介護福祉士の口腔ケアの認識と実施状況

中込 由紀代 (山梨大学大学院総合研究部)

28-5 医療施設における認知症ケアチーム結成後の院内スタッフの認知症ケアに関する認識
馬淵 路子 (健康科学大学看護学部)

28-6 老年的超越理論の研究動向に関する文献検討
宇田 優子 (新潟医療福祉大学看護学部)

第 29 群 精神保健・福祉 1

29-1 A 県 B 町住民のこころの健康とソーシャル・キャピタルの関連について
佐藤 泰啓 (宮城大学看護学群)

29-2 ひきこもる人が訪問支援を受けてから自分らしい働き方を見出すまでの心理的变化
斎藤 まさ子 (長岡崇徳大学看護学部)

29-3 ひきこもり中高年者に対する市町村保健師の支援
勝俣 沙映 (山梨大学大学院医工農学総合教育部)

29-4 ジェンダー規範と BMI・抑うつ状態との関連
木下 麻子 (大東文化大学 スポーツ・健康科学部)

29-5 SWOT 分析を用いた高次脳機能障害者家族介護者に対する地域ケアアプローチの検討
新藤 由香 (横浜市立大学大学院医学研究科地域看護学分野)

29-6 農福連携に関する実態調査
「農福マルシェ」にボランティア参加した中高生のインタビュー調査から
大島 珠子 (山陽学園大学看護学部看護学科)

29-7 新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) 拡大に伴う電話相談内容の実態
中島 千英子 (茨木市健康福祉部保健医療課)

第 30 群 精神保健・福祉 2

30-1 精神障害を持つ人が行うピアサポート活動による意識変化と自己成長
長岡 志織 (淑徳大学 看護栄養学部)

30-2 精神障がい当事者をつくる地域共生社会
横浜ピアスタッフ協会のエスノグラフィ
野海 直子 (明石市感染対策局あかし保健所保健予防課)

30-3 精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築に向けた病院と地域の連携の成果と課題
病院と地域の連携推進のための取組からの振り返りをとおして
鈴木 晶子 (東京都福祉保健局多摩小平保健所保健対策課地域保健担当)

30-4 精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築に向けた病院と地域の連携推進のための取組報告 (第 2 報)
～地域連携研修の取組から連携に必要な要素についての一考察～
佐藤 恵理 (東京都福祉保健局多摩小平保健所保健対策課地域保健担当)

-
- 30-5 A 保健所管内の精神障がい者の地域移行支援における組織連携の検討
修士課程保健師教育における広域看護活動研究実習
門田 理子 (大分県立看護科学大学大学院博士前期課程広域看護学コース)
-
- 30-6 措置入院患者の退院後支援事業に従事した保健所保健師が把握した事業の効果と課題
後迫 由衣 (広島県東部保健所福山支所保健課)
-
- 30-7 不衛生な家屋で生活する若年のセルフ・ネグレクト事例への対応
条例を制定し専任保健師が配属されているA市の取組
岸 恵美子 (東邦大学看護学部)

第31群 感染症保健

-
- 31-1 外国人技能実習生の結核に関する現状と課題 (2018年新登録患者)
永田 容子 (結核研究所対策支援部)
-
- 31-2 外国人結核患者に対するDOTS(Directly Observed Treatment, Short-course)における保健師の支援の特徴
吉岡 千夏 (神戸大学大学院保健学研究科)
-
- 31-3 外国出生結核患者への継続的な療養支援
外国人相談室の10年の取組から考察する
座間 智子 (結核予防会 結核研究所)
-
- 31-4 壮年期にある潜在性結核感染者の内服の継続における体験
木村 美憂 (天使大学大学院卒業)
-
- 31-5 感染症への偏見に関する研究動向
国内外の比較より
丸谷 美紀 (国立保健医療科学院)
-
- 31-6 新型コロナウイルス感染症発生時における初期対応の検証報告
保健センター職員へのアンケート結果から
栗津 昌枝 (名古屋市保健所熱田保健センター)

第32群 障害者保健・福祉 (難病・発達支援含む)

-
- 32-1 難病の地域ケアシステムに関する文献検討
松元 悦子 (山口県立大学 看護栄養学部)
-
- 32-2 知的障がい児者の養育者である母親の生活上の課題に関する文献検討 ～公衆衛生看護の視点から～
小田切 亮子 (元市川市役所)
-
- 32-3 知的障がい者のグループ活動に参加した保健師学生の障がい者観の変容
酒井 理香 (元了徳寺大学健康科学部看護学科)

32-4 保健所保健師による医療的ケア児を対象とした「個別支援」と「地域ケアシステム構築」

後藤 奈穂 (山口大学大学院医学系研究科保健学専攻)

32-5 筋萎縮性側索硬化症 (ALS) 療養者の人工呼吸器装着に関する意思決定支援の一考察
～保健師経験20年以上の保健師が参加した事例検討を通して～

本田 浩子 (東京都多摩小平保健所保健対策課)

32-6 新任期保健師の筋萎縮性側索硬化症療養者の人工呼吸器装着に関する意思決定支援に向けた困難さ

難病療養支援計画策定・評価会議での取り組みを通して

溝口 靖子 (多摩小平保健所保健対策課地域保健担当)

第33群 学校保健

33-1 児童の Peak Bone Mass(以下 PBM)の獲得に向けた取り組みに関する小学校教員の認識

緒方 智美 (福岡女学院看護大学)

33-2 Peak Bone Mass の獲得に向けた小学生に対する学年毎の学習教材の検討

松尾 和枝 (福岡女学院看護大学看護学部)

33-3 就学时健康診断の現状に関する文献検討

竹中 香名子 (名古屋学芸大学ヒューマンケア学部)

33-4 1960年代から1970年代の山口県における「性」に関する教育実践について

松元 実環 (神戸大学国際文化学研究所)

33-5 小学校養護教諭による保護者へのがんについての情報発信の現状と課題

石田 千賀 (神戸大学大学院保健学研究科パブリックヘルス領域)

33-6 東京都の私立小学校・私立中学校・私立高等学校の自然災害対策の実態とその養護教諭の役割認識 ～学校の安全管理者と養護教諭の質問紙調査～

八十濱 希恵 (東京シューレ江戸川小学校)

33-7 学校保健と行政分野の保健師の連携に関する研究の動向と文献検討からみた連携上の課題

山崎 名歩子 (妙高市福祉介護課)

第34群 産業保健

34-1 LGBT当事者にとっての働きやすさの考察

宮下 茜 (横浜市磯子区役所福祉保健センターこども家庭支援課)

34-2 メンタルヘルス不調をもつ労働者が休業に至る過程における産業看護職の支援

亘 美咲 (神戸大学大学院保健学研究科パブリックヘルス領域)

34-3 中小規模事業場の事業主・安全衛生担当者等による地域保健との連携内容とメリットに関する検討

三橋 祐子 (東海大学医学部看護学科)

34-4 二次データ利用による環境中大気汚染物質と低出生体重児との相関

吉川 之菜 (東京医療保健大学大学院 看護学研究科)

34-5 産業看護職が行う家族支援技術の因子的妥当性

中谷 久恵 (広島大学大学院)

34-6 労働者の仕事外の過ごし方についての文献的検討

熊谷 麻紀 (松本大学 人間健康学部)

第 35 群 国際保健

35-1 看護学生の国際保健活動への関心度とその関連要因

加藤 美保子 (浜松医科大学附属病院看護部)

35-2 在留外国人と地域住民との交流による効果の文献検討

星 桃子 (東北大学医学部)

35-3 外国籍の子どもの不就学に関する文献レビュー

藤井 まい (同志社大学赤ちゃん学研究センター)

35-4 妊娠・出産・育児に関する外国人の認識と支援ニーズ

イベントに参加した外国人住民のアンケートとインタビューから

会沢 紀子 (獨協医科大学看護学部)

35-5 乳幼児期の子どもを持つ外国人母の妊娠・出産・子育てに関する情報探索行動についての実態調査

二田水 彩 (聖路加国際大学大学院看護学研究科博士後期課程)

35-6 日本で暮らす外国にルーツを持つ子ども・子育て支援サイトの開設

森山 ますみ (国際医療福祉大学福岡看護学部)
